NIE実践報告

1．タイトル　**情報が結ぶ世界「新聞でつなごう、つながろう」**

2．学校名

神奈川県横浜市立六つ川台小学校

3．実践者名（代表者名）

八谷祐輝

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会　28人

6．単元（本時の学習課題）名

情報が結ぶ世界「新聞でつなごう、つながろう」

7．目標(狙い)

新聞の読み方を知り、自分の興味・関心に応じて、スクラップしたい身のまわりの出来事をさがす事ができる。新聞記者とのやりとりや新聞社見学を通して、新聞産業に関わる人々の努力や工夫について理解する。

8．評価の視点

自分の考えを表現する時に、具体的な記事や新聞記者の方の言葉などから根拠をはっきりとさせて、発言したり書き表したりすることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「情報が結ぶ世界」13時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①自分の生活を振り返り、情報に関心を持ち、情報の働きや情報伝達の仕組みについて調べていこうとする意欲を持つ。（2時間）
②情報の見つけ方、読み方について考えたり、新聞の紙面から気づくことを話し合ったりして、情報の有効な活用について考える。（6時間）
③新聞記者の方に興味を持ち、情報の発信者としての工夫や努力について考える。（5時間）
（留意点）
- **新聞の紙面構成を丁寧に指導することで、児童が新聞を開くことを楽しみに思えるようにする。**
- **複数の新聞を読み比べさせることで、新聞社ごとの共通点や、新聞社が読者のニーズに応えられるような紙面づくりをしていることに気づくことができるようにする。**
- **新聞記者の方とのやりとりや新聞社見学など、具体的な例をもとに学習が進められるようにする。**

11．児童・生徒の反応、感想・意見

スクラップ活動を継続したことで今の社会のことが少しはわかった、前より新聞を読むようになった、という感想をもつ児童が多くいた。新聞記者の方との関わり合いがあったので、新聞記者の方から聞いた話などから、具体的な事実をもとに発言することができた。

12．成果と課題

具体的な人物を登場させることで、自分たちにとっての疑問を細かいところまで、確認させられることができた。「○○新聞を見ると・・・」という発言が多く見られた。自分の考えを発言するとき、考えの拠り所が手元にあるので、説得力のあるものになっている、と感じられる場面があった。初めて、新聞を教材化したため、新聞を学ぶことに多くの時間を費やした。結果、授業では、新聞というものはどんなものなのか指導する場面が多く、子どもたちの問いが生まれる前に、教師が課題を設定することが目立ったように思われる。子どもの実態や思考の流れに合わせて、新聞を教材化できるよう研究していきたい。